

三橋博三先生、日本コンクリート工学会の第 26 代会長に就任

三橋博三名誉教授（18 回生）が、公益社団法人 日本コンクリート工学会（Japan Concrete Institute、以下JCI）の [第 26 代会長にご就任](#) されました。

JCI は、昭和 40 年 7 月に「日本コンクリート会議」として発足、「社団法人 日本コンクリート工学協会」の名称変更を経て、平成 23 年 4 月には「公益社団法人」として認定されて現在の組織となっています。建築・土木の両分野に亘って、コンクリート工学に関わる全般を網羅する学会として幅広く活動しています。現在の会員数は約 7,500 名の規模を持ち、研究分野だけでなく現場で活躍する技術者も数多く在籍しており、また、既に広く認知されているコンクリート主任技士・コンクリート技士・コンクリート診断士の資格認定を行うなど、コンクリートに関する学術団体として確固たる地位を築いています。

三橋先生は、JCIの国際的な評価を揺るぎないものにした英文論文集 [ACT](#)（Journal of Advanced Concrete Technology）の創刊を、初代Editor-in-Chiefとして直接ご指導された他、近年の「東日本大震災に関する特別委員会」委員長など数多くの活動を牽引され、これまでも多大な貢献をされてきました。現在、我が国が直面している震災復興や社会基盤構造物の劣化対策、循環型社会の構築などの重要な課題に対してJCIが果たす役割は大きく、三橋先生の会長としての手腕の発揮が期待されてご就任に至ったものと拝察いたします。

JCI 会長としての三橋先生のご活躍を祈念するとともに、杜春会の諸先輩方のご支援・協力を賜りますことをお願い申し上げます。



会長就任の挨拶をされる三橋先生

西脇智哉（43 回生）